

小白浜地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会
議事要旨

記

■開催日時：平成 31 年 2 月 24 日（日） 14 時 00 分～15 時 27 分

■開催場所：唐丹地区生活応援センター

■次第

1. 市長挨拶
2. 本日の主旨とこれまでの経緯
3. 最新の土地利用計画について
4. 公園環境整備（案）について
5. 仮設グラウンド取り扱いについて
6. 消防屯所について
7. 今後の工事スケジュールについて
8. 住宅再建に係る補助制度について
9. 防潮堤について
10. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

小白浜東地区の公園環境整備案において、植樹の計画があるが、木が大きく育った時に風の回りがどうなるのかを心配している。万が一何かあったときの対応も含め、公園の植樹はやめてほしい。

回答

近隣に住まわれている方々と再度お話をさせていただいた上で、どの程度整備するかを決めさせていただきたいと考えております。

質問 2

小白浜東地区のごみ箱の設置が 1 基となっているが、時期によって入らない時があるので、もう 1 つ増やしてもらいたい。

回答

ごみ箱の設置基数の基準はおよそ 10 戸に 1 基となっており、小白浜東地区の戸数から考えると 1 基となりますので、増やす見込みはないかと思えます。担当の環境課に今回のご意見をお伝えしますが、追加は難しいと思われれます。

質問 3

唐丹 20 号線から国道 45 号に車で出る際に、国道 45 号を走行している車が見えづらく不便に感じているので、カーブミラーを設置してほしい。

回答

現地を確認させていただいた上で、今後の対策を検討させていただきたいと考えております。

質問 4

小白浜東地区の法面中段にある水路にごみ溜まっていると思われる。台風の時期等、湧き水が大量に出た場合心配なので、水路に蓋をしてはどうか。

回答

水路に蓋があると、法面全体から流れてくる水が側溝に入らず下に流れていく可能性があるため、水路には蓋をつけず、水を受けやすいように整備しております。

質問 5

小白浜東地区の法面の水路に金網をつけるのはどうか。これまでに水路のごみの確認は行っているのか。

回答

小段排水に蓋をつけることが基準的にはないので、市で定期的に水路を確認し、ごみがある場合にはごみを撤去することになると考えますが、現時点で水路のごみの確認は行っておりませんので、一度現地を確認させていただきます。

質問 6

集落排水工事を平成 32 年 3 月まで行うことに計画上になっているが、各自の工事はいつまでに終わらせなければならないのか。また、現在の小白浜地区の集落排水の利用率はどのくらいかを教えてほしい。

回答

事業計画書上、平成 31 年度（平成 32 年 3 月）の完成を目指し工事を行っております。万が一遅れた場合は、工事全体の期間である平成 32 年度までとなるかと考えます。また、集落排水の利用率につきましては、後日改めて回答させていただきます。

質問 7

市道 58 号線の小白浜から片岸の道路の古い道路と新しい道路の境あたりのアスファルトに 5 m ほど穴が空いている状態なので、舗装してほしい。

回答

建設課道路維持係とともに現地を確認いたします。

質問 8

唐丹 20 号線について、当初は水門まで道路を作ると聞いていたが、現在途中で止まっている。水門の工事と同時にまた工事は行われるのか。

回答

今のところ、計画はございません。

質問 9

来年度、本グラウンドとしての用地買収が行われるということだが、グラウンドにかかる分だけの土地の買収なのか。周辺の土地も一緒に買い上げてもらえないのか。

回答

現在仮設グラウンドとして利用している部分のみの買収となります。

質問 10

これまでは、防潮堤北側と唐丹 20 号線がつながる道を利用し、海岸側に出ていたのだが、新しい防潮堤ができて同じように通ることはできるのか。

回答

これまで使用していた防潮堤北側は通れるようにはなりません。海岸側に行かれる場合は、防潮堤の背面の市道を通り、防潮堤中ほどにある陸閘を通り抜けるルートとなります。

質問 11

陸閘に通る市道 41 号線は、その道路を通って海岸に出られるようになるのか。

回答

市道 41 号線から北側の陸閘を通り、海岸へ出ることはできます。ただし、道路の幅は行いませんので、軽トラックが通れる程度の道路幅となります。

質問 12

新しい団地にごみ箱が設置されたが、現在各町内会で使用しているごみ箱は自分たちでお金を出し合っている。老朽化しており、新設しなければならないが、市からの補助は出してもらえないのか。

回答 1

新しい団地に設置したごみ箱は、被災者の復旧ということで整備しておりますので、もととあるごみ箱を単に新設するにあたっての補助金は難しいかと思われます。

回答 2

市の取り組みとしては、単に老朽化したものを新設するにあたっての補助金は出しておりませんが、ごみ集積所の集約化（複数のごみ箱を 1 箇所にとめる）による新たなごみ箱の購入に対し補助を行っています。

質問 13

現在 20 戸ほどで 1 つのごみ箱を使用しているが、たくさんの量のごみが出されている。この場合でも市による設置の対象にはならないのか。

回答

担当の環境課より、後日改めて回答させていただきます。

質問 14

今回の協議会の内容はハード面の話が多いように感じるが、復興まちづくりについて考えると、これからはソフト面が重要になると思う。次回の協議会からはソフト面も取り上げてはどうか。

回答

これまでの協議会でもソフト面は出してきておりましたが、次回以降もソフト面をもっと充実させていきたいと考えております。

質問 15

来年度から本設グラウンド用地の買収が行われるとのことだが、その際に地権者だけを集めて詳しい説明を行う場を設けてほしい。

回答

いただいたご意見を参考にし、地権者の方々を集めての会議を行うか検討させていただきます。

質問 16

復興住宅の雨どいが一般住宅に比べて細く、雨が降った際には水があふれたり、木の葉が詰まって雨どいの役をなしていないのだが、雨どいを太くしてもらえないか。

回答

担当の都市計画課で現地を確認し、対応を検討させていただきます。

質問 17

小白浜海岸防潮堤北側の陸間につながる市道 41 号線の拡幅はないとのことだったが、これまで北側の陸間に抜けていた道路が通れなくなるので、市道 41 号線をきちんと舗装して立派にしてもらいたい。

回答

現場を確認し、修繕が必要な箇所は修繕を行います。基本は、現状のまま通し、必要に応じて補修を行っていききたいと考えております。現状の通行止めを復旧させる際に、防潮

堤近くは改めて県とも協議し、検討してまいりたいと考えております。

質問 18

唐丹 20 号線と国道 45 号の T 字路にはカーブミラーも信号もないのだが、安全面を考慮しそれらを設置してほしい。

回答

平成 28 年度から警察とも協議をしており、通学路としての使用も含め、横断歩道や信号機の設置を考えておりましたが、通学路に関しては、交通量の少ない別ルートを通ってほしいということになっております。また、三陸道の開通に伴い、国道 45 号の通行量が変わることが想定されますので、経過をみて検討することになっております。カーブミラーに関しては、道路の設計上不必要と考えておりますが、通行が危ないということであれば、改めて検討してまいりたいと考えております。

【野田市長閉会挨拶】

今日は皆さん貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。おおむね県の防潮堤の完成がだんだん近づいてきたという中で、その通り道ですね、陸閘等との関係がどうなっているかというご質問が多かったと思います。今日の図面もその辺りがわかりにくいものだったと思いますので、また機会をつくってきちんと防潮堤周辺の道路と、それから陸閘のあり方等、わかりやすい図面をつくりながら説明をさせていただきたいと思えます。

それから道路について、先ほどミラーなど色々なお話がありましたが、これは応援センターの所長から話がありましたとおり、地域会議や町内会からの要望等いろいろとございますので、その辺りを整理しながら必要なものはきちんと設置をして、警察と相談しながらきちんと対応していきたいと思えます。住んでいる方々の意見がやはり重要ですので、遠慮なさらずこれからもぜひ意見を述べていただければと思っております。

それから、ごみ箱の話もありましたが、今回は被災した部分の復興には国からお金をいただいてごみ箱を設置しておりますが、そのごみ箱も結構高い立派なものなのです。10 万から 20 万ぐらいするのではないかと思います。色々な町内で設置しているのは 2 万とか 1 万、それぞれ自分でつくったり、あるいは知っている方に頼んだりして、高くても 2 万か 3 万ぐらいが相場だと思うのですが、今回国のお金を活用しているものですから、立派なごみ箱を整備しているのです。しかし、この措置は復興期間終了までとなっておりますので、今、被災地で新しくごみ箱を整備しているところには配置をしています。それとは別

に従前の方々についてですが、先ほど副市長から話があったとおり、釜石はごみ箱の設置箇所が多いのです。他の同じような規模の自治体と比較すると、ごみ箱を置いている距離が短く、2倍くらいの数を設置しているのではないかと思います。それだけ皆さんの負担にならないように対応してきたということです。

他の自治体は、歩いて遠くまで行かないとごみを集めてもらえないということなので、皆さんが利用しやすいようにごみ箱の設置距離を短くはしているのですが、それでも結構いろいろと苦情があります。今は余りにも距離が近過ぎるので、市では少し集約してごみ箱の数を減らそうという考え方でやっておりました。ご協力いただけるときには市から少し支援をしましょうということですが、今回お話がありましたので、その辺を我々も考えて、皆さんが個人個人でつくるのであれば、もう少し安く提供できるようなものをお勧めするとか、そのような取り組みもできるのかなと思っております。これは、我々も大きな課題として受けとめて、できるだけ皆さんの都合のいいように進めさせていただければと思っております。

それから、今日の大きなテーマは仮設のグラウンドだったものを本設のグラウンドにしたいということでしたが、これについては特に異論はないと受けとめさせていただきましたが、地権者の方々と集まっていろいろと議論をしたほうがいいのではないかとのご提言があり、これもまさにそのとおりだなと思っております。ぜひ地権者の方々に一度お集まりをいただいて、今のような計画をもう一回説明させていただき、ご理解をいただければと思っておりますので、これはぜひ必要な時期までにその会を開催させていただきたいと思っております。

そして他にも側溝のごみなどいろんな課題が出されましたが、押しなべて役所の見回りが少し足りないような感じがいたしました。もう一度小白浜地区を見回しながらそれぞれの皆さんの生活に支障のないように少し力を入れて取り組んでいきたいと思っております。また、ハード面だけではなくソフト面も重要であるというご指摘がありましたので、そちらのほうにも力を入れていかなければならないと思ったところがございます。

いつも色々なところでお話をさせていただいているのですが、釜石は応援センターが市内8カ所にあって、応援センターの職員は地域のさまざまな見守りやその対応をしており、公民館事業と相まって非常に活発に展開をしています。多分岩手県内でもこれほど活発に取り組んでいるところはないのではないかと自負をしております。センターの所長には、一生懸命頑張ってもらっているところです。公民館活動もすごいです。唐丹地区をはじめ、市内の至るところでさまざまな活動をやっているのですが、これはすごいことです。ただ、余りほかの地区の方々は、例えば唐丹地区でどのような活動をやっているのかはわからないし、ほかの地区の活動は余り皆さんもわからないと思うのですが、すごい活動を展開し

ています。

これらの活動は地域の宝だと思っておりますので、引き続き取り組んでいただきたいと思います。先日ちょっと調べましたならば、今市内の人口がどんどん減っているわけですけれども、70歳以上の方がたしか5,000人、80歳以上の方が4,000人ほどでしたか。90歳以上の方は、以前は100人から200人ほどだったのですが、現在は大体900人ぐらい、約1,000人まで増加しています。100歳以上の方は今市内に19人おまして、全員女性です。何を言いたいかというと、年々70代の方も増えていますし、もちろん80代の方も増えているのですが、90代の方が急激に増えてきているということです。もちろん100歳運動をしていますから、これからは100歳までこの地域で生活していくにはどうしたらいいかということを含めて考えていかなくてはいけないのですが、この大きな時代が今来ているのだという話がございます。ただ、70代の方々は地域の町内会の活動などを一生懸命頑張っていたいただき、何とか釜石を守っていただいているわけですが、これが80、90代の方がだんだん多くなってきたら70代の方だけで支えるのはなかなか大変になりますので、その分、今度は80代の方にも頑張ってもらいたいということになるのだらうと思います。これは、笑い事ではなくてそういう時代を迎えているということなのです。

ですから、今度は90代の方も頑張ると、年々このようになっていくわけでございまして、そういった心がけを持っていただかないとやはり地域は守れません。俺もう70だから終わりだとか、80だから終わりだというのではないのだと。70、80代の方々に頑張ってもらいたいとだめだということでございますので、その辺りの方々はぜひご理解をいただいて、応援センターがそのような取り組みをさせていただいておりますので、応援センターと町内会、そして地域会議と連携しながら、地域の安心安全、そしてまた振興に取り組んでいきたいと思っております。

今日はいろんなご意見をいただきましたが、改めてこれを取りまとめて、ニュースレターという形で今日おいでにならない方々にもお知らせをさせていただきますし、また今日お約束をした部分についてはきちんと対応させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、長時間にわたりましていろいろとご協力ありがとうございました。これをもって終了とさせていただきます。